



平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ビューティ花壇

コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三島美佐夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 須浪薫

TEL 03-5819-5670

四半期報告書提出予定日 平成23年11月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	1,011	1.9	0	△99.2	△2	—	△12	—
23年6月期第1四半期	992	10.0	26	—	27	—	8	—

(注) 包括利益 24年6月期第1四半期 △14百万円 (—%) 23年6月期第1四半期 14百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	△576.99	—
23年6月期第1四半期	404.77	400.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第1四半期	1,638	505	27.4	21,043.43
23年6月期	1,644	565	30.7	23,657.91

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 448百万円 23年6月期 505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
24年6月期	—	—	—	—	—
24年6月期(予想)	—	0.00	—	1,664.00	1,664.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,157	5.4	69	△10.1	66	△12.0	34	△50.5	1,614.67
通期	4,530	9.9	218	19.5	212	16.9	118	△5.6	5,548.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期1Q	25,380 株	23年6月期	25,380 株
② 期末自己株式数	24年6月期1Q	4,072 株	23年6月期	4,032 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期1Q	21,346 株	23年6月期1Q	21,518 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動の概要	4
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、回復基調にあるものの、円高の進行や中国をはじめとしたアジア各国の金融引締政策やユーロ圏の財政問題等による海外の景気減速など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。基本方針として、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客における当社への発注シェアアップによる売上アップ、徹底的な経費削減を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、1,011,127千円（前年同期比1.9%増）となりました。売上総利益は、中期経営計画の1つである徹底したローコストオペレーションのために取り組んでいる加工物流センターへの設備投資と同センターにおける人材の先行雇用、教育費用が増加したことにより、150,961千円（前年同期比24.3%減）となりました。販売費及び一般管理費は、顧問料、人件費等を抑え150,748千円（前年同期比12.6%減）となり、営業利益は、212千円（前年同期比99.2%減）となりました。また、経常損失は、2,369千円（前年同期は27,070千円の経常利益）、四半期純損失は、固定資産の除却により12,316千円（前年同期は8,875千円の四半期純利益）となりました。

当第1四半期連結会計期間より、生花祭壇事業及びブライダル装花事業売上に対応する原価をより適切に示すため、売上原価及び販売費及び一般管理費の一部を組み替えによる表示の変更を行っており、遡及処理後の数値で当四半期連結累計期間の比較・分析を行っております。

また、前連結会計年度の期末より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当四半期連結累計期間の比較・分析は、変更の影響を含めております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、761,313千円（前年同期比1.5%増）となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計速報」（サンプル調査）によると、葬儀業の平成23年7月から平成23年8月までの売上高は89,529百万円（前年同期比12.2%増）、件数は61,950件（前年同期比13.7%増）と増加傾向にあります。このような状況の中、前述の全社基本方針を徹底してまいりましたが、加工物流センターへの設備投資と同センターにおける人材の先行雇用、教育費用が増加したことにより営業利益は48,038千円（前年同期比50.1%減）となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、198,936千円（前年同期比1.2%増）となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」（平成23年9月）によると、平成23年7月から平成23年9月までの切花累計の数量は267百万本（前年同期比4%増）、金額では15,788百万円（前年同期比2.2%減）と数量ベースでは増加、金額ベースでは減少となっております。当社では、前述の全社基本方針を徹底した結果、当第1四半期連結累計期間の取扱数量は前年同期比で15.8%増となっております。その一方で、当事業が属する花卉業界におきましても低価格競争が激しくなり、営業利益は45,765千円（前年同期比13.2%減）となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、50,877千円（前年同期比11.4%増）となりました。結婚式場業は少子化や非婚化・晩婚化等の影響を受けており、経済産業省「特定サービス産業動態統計速報」（サンプル調査）によると、平成23年6月から平成23年8月までの結婚式場業の売上高は29,559百万円（前年同期比9.9%減）、取扱件数は10,259件（前年同期比9%減）と減少傾向にあります。当事業を請け負う連結子会社の株式会社クラウンガーデネックスにおいて、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客における当社への発注シェアアップによる売上アップにより、売上高、売上総利益ともに改善しました。しかしながら、販売促進費等の増加により営業損失は4,291千円（前年同期は5,445千円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,480千円減少し、1,638,145千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ8,586千円増加し、1,044,239千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少と原材料及び貯蔵品の増加によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ15,065千円減少し、593,906千円となりました。これは主に、差入保証金の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ52,552千円増加し、1,132,163千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ45,793千円増加し、644,088千円となりました。これは主に、短期借入金と1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ6,759千円増加し、488,074千円となりました。これは主に、社債の減少及び長期借入金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ59,031千円減少し、505,982千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月期の第2四半期累計期間及び通期業績予想につきましては、平成23年8月10日発表の「平成23年6月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項
 - (1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動の概要
該当事項はありません。
 - (2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
 - (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	515,811	514,009
受取手形及び売掛金	435,351	420,968
商品	2,762	4,568
仕掛品	198	33
原材料及び貯蔵品	11,554	19,773
その他	73,114	90,602
貸倒引当金	△3,140	△5,716
流動資産合計	1,035,653	1,044,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	114,295	116,588
減価償却累計額	△56,382	△58,147
建物及び構築物(純額)	57,913	58,440
工具、器具及び備品	174,137	169,565
減価償却累計額	△115,536	△116,517
工具、器具及び備品(純額)	58,601	53,047
土地	122,842	122,842
その他	66,725	71,455
減価償却累計額	△11,373	△16,991
その他(純額)	55,352	54,463
有形固定資産合計	294,708	288,793
無形固定資産	15,625	7,679
投資その他の資産		
差入保証金	161,502	147,191
その他	158,806	173,635
貸倒引当金	△21,670	△23,393
投資その他の資産合計	298,638	297,433
固定資産合計	608,971	593,906
資産合計	1,644,625	1,638,145

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,783	82,073
短期借入金	40,500	65,000
1年内返済予定の長期借入金	193,560	224,360
未払法人税等	39,905	20,119
賞与引当金	—	24,332
その他	248,547	228,202
流動負債合計	598,295	644,088
固定負債		
社債	95,000	85,000
長期借入金	350,064	368,774
退職給付引当金	14,369	14,477
その他	21,882	19,823
固定負債合計	481,315	488,074
負債合計	1,079,611	1,132,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	133,240	133,240
利益剰余金	308,722	253,709
自己株式	△142,851	△144,495
株主資本合計	512,350	455,694
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△7,301	△7,300
その他の包括利益累計額合計	△7,301	△7,300
少数株主持分	59,964	57,588
純資産合計	565,013	505,982
負債純資産合計	1,644,625	1,638,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	992,589	1,011,127
売上原価	793,288	860,165
売上総利益	199,301	150,961
販売費及び一般管理費	172,552	150,748
営業利益	26,749	212
営業外収益		
受取利息	141	144
受取地代家賃	2,733	2,625
補助金収入	1,530	—
為替差益	—	1,516
その他	747	824
営業外収益合計	5,152	5,111
営業外費用		
支払利息	2,735	2,597
貸倒引当金繰入額	—	3,500
不動産賃貸費用	1,285	1,325
その他	810	270
営業外費用合計	4,831	7,693
経常利益又は経常損失(△)	27,070	△2,369
特別利益		
固定資産売却益	1,561	—
特別利益合計	1,561	—
特別損失		
固定資産除却損	—	11,585
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,347	—
その他	11	—
特別損失合計	2,359	11,585
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	26,272	△13,954
法人税、住民税及び事業税	17,058	10,876
法人税等調整額	△8,163	△10,138
法人税等合計	8,895	738
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	17,377	△14,693
少数株主利益又は少数株主損失(△)	8,501	△2,376
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,875	△12,316

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	17,377	△14,693
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,903	0
その他の包括利益合計	△2,903	0
四半期包括利益	14,474	△14,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,424	△12,316
少数株主に係る四半期包括利益	7,050	△2,375

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	750,141	196,639	45,658	992,439	150	992,589	—	992,589
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	222,801	2,231	225,032	—	225,032	△225,032	—
計	750,141	419,441	47,889	1,217,472	150	1,217,622	△225,032	992,589
セグメント利益又は損 失(△)	96,279	52,738	△5,445	143,572	△830	142,741	△115,992	26,749

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プランツスケープ事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△115,992千円には、セグメント間取引消去△307千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115,684千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	生花祭壇事業	生花卸売事業	ブライダル 装花事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	761,313	198,936	50,877	1,011,127	—	1,011,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	236,161	2,461	238,623	△238,623	—
計	761,313	435,098	53,339	1,249,750	△238,623	1,011,127
セグメント利益又は損 失(△)	48,038	45,765	△4,291	89,511	△89,298	212

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△89,298千円には、セグメント間取引消去489千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,787千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前第3四半期連結累計期間まで生花祭壇事業及び生花卸売事業の2つを報告セグメントとしておりましたが、前連結会計年度の期末より、生花祭壇事業、生花卸売事業及びブライダル装花事業の3つの報告セグメントに変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。